



造血幹細胞移植を受ける お子様とご家族の方へ

大阪市立総合医療センター

2025年3月作成

目次

- 1. はじめに**
- 2. 移植前後のスケジュール**
- 3. クライオセラピーについて**
- 4. 用意する物品について**
- 5. 持ち込みできる物品について**
- 6. 物品に関する注意事項**
- 7. 家族の面会・付き添いについて**
- 8. 移植後の一日のスケジュール**
- 9. 食事について**
- 10. 清潔ケアについて**
- 11. 口の中のケアについて**
- 12. GVHD(移植片宿主病)について**
- 13. 内服について**
- 14. おわりに**

1. はじめに

造血幹細胞移植を受けられることとなり、

移植に対してさまざまな不安を抱えておられることと思います。

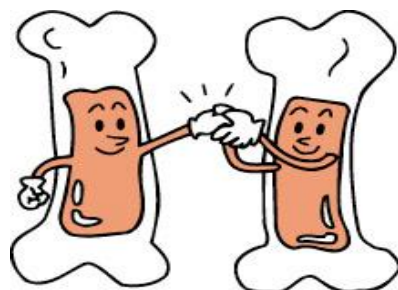
移植を行うために必要となる知識や気をつけていただきたいこと、

準備する物品などについて知ることで、ともに乗り越えられるように

このパンフレットを作成させていただきました。

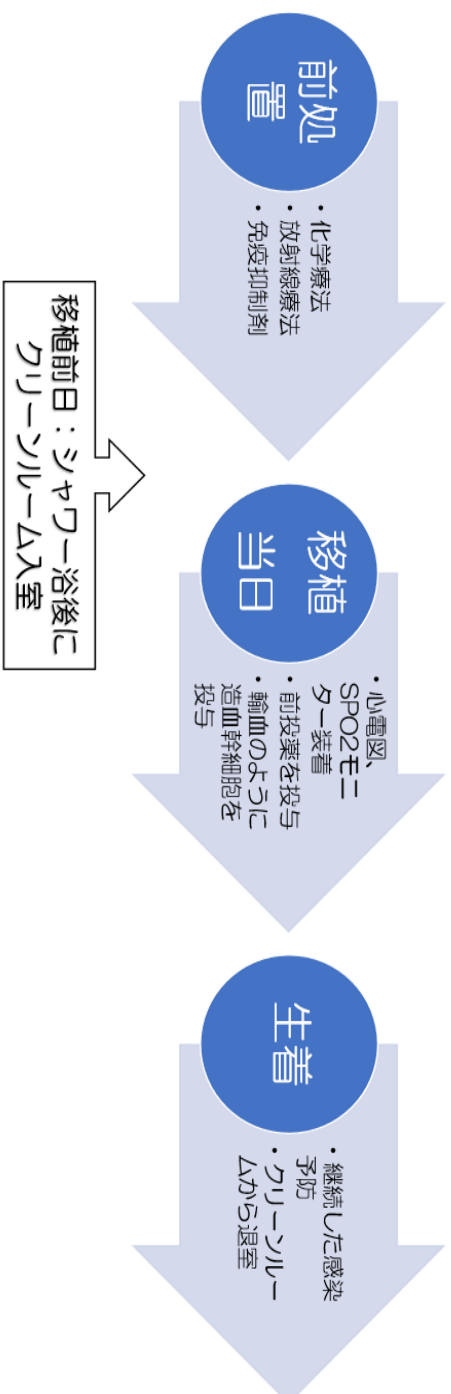
わからないことや心配なことがありましたら、何でも医師や看護師に

相談してください。



移植前後のスケジュール

2. 移植前後のスケジュール



3. クライオセラピーについて

クライオセラピーとは・・・

口の中の粘膜を冷やし血管を収縮させることで、到達する抗がん剤の量を減少させます。薬剤投与前から粘膜障害予防のためお口の中を冷やす方法です。

【ご準備していただきたいもの】

氷片、かき氷、シャーベット、アイスクリームなど口の中を冷却できるもの

保冷剤や保冷シート（氷片などを使用できないとき）

上着や掛物（身体が冷えるため保温できるもの）

【方法】

歯磨き、うがいにてお口の中を清潔にします。

薬剤投与開始5分前から薬剤投与終了後30分まで、氷片などを口に含み続けます

10～20分ごとに氷水でうがいをします。

（溶けた氷水は飲み込まず吐き出してもいいです）

上記方法を推奨しますが、できないときは保冷剤や保冷シートで両頬を冷却します。



4. 用意する物品について

- ☐ 着替え（洗濯しよく乾燥させたもの、天日干し、乾燥機可）
- ☐ ビニール袋（着替えた後の服、汚れたオムツ、嘔吐時）
- ☐ ハンドタオル、タオル
- ☐ ティッシュペーパー
- ☐ 歯ブラシ・歯磨き粉
- ☐ マスク
- ☐ 除菌ウェットティッシュ
- ☐ 紙コップ

【必要時】

- ☐ オムツ（移植後下痢になることがあります）
- ☐ 綿棒（個包装、軟膏使用時）
- ☐ お尻ふき
- ☐ スポンジブラシ（口腔ケア用）
- ☐ 内服用ゼリー（内服が困難な時）
- ☐ 皮膚保護剤（サニーナ® お尻の洗浄剤で、拭く時の傷みをやわらげます）

*ティッシュペーパーや歯ブラシなど衛生用品は新しく購入したもので準備をお願いします

5. 持ち込みできる物品について

- ☐ DVD 付テレビ（病院のものもあり。電気代は不要です。）
- ☐ DVD（レンタル品のDVD・ケースは、拭いていただければ可です。）
- ☐ おもちゃ（最小限でふくことができるもの）
- ☐ 本（目に見える汚れのあるもの以外は可です）
- ☐ 携帯用ゲーム機（最小限にし、本人または家族管理をお願いします。）

* 上記以外で希望されるものについては前もってご相談下さい

* 面会の方の貴重品以外の荷物はロッカーに入れて下さい

6. 物品に関する注意事項

☆移植を行う部屋はお子様が、細菌やウイルスなどの感染から身を守るために個室となり、特に感染予防が重要になります。

☆部屋の中で少しでも快適に過ごしていただきたいのですが、

持ち込まれる物品には多くの細菌がついています。

それが感染の原因になることがありますので持ち込まれるものを制限させていただきます。

- ・病室に持ち込む前に洗淨または除菌クロスで拭き取りをお願いします
- ・清潔が保てて、除菌ができるものが持ち込みできます
- ・置く場所には限りがあるため荷物は最小限をお願いします
- ・床に落とした物は必ず除菌クロスで拭き取りをお願いします
- ・着替えた後の汚れた服はビニール袋に入れて封をしてください
- ・汚れたオムツは机やシーツの上に置かず、直接ビニール袋に入れ、おむつ交換後は石鹸で手洗いをお願いします
- ・ベッド周辺の環境整備・整理整頓

(床には物を置かないようにしてください) を心がけてください

7. 家族の面会・付き添いについて

☆基本的に面会は、ご家族（両親・兄弟（高校生以上）・祖父母など）のみとさせていただきます

☆感染予防のため、一度に面会できる人数は3名までです

☆面会時間は、院内・病棟の面会時間とおりです（両親は24時間いつでも可）

☆面会者の方は、児のベッドの上に物を置いたり、座ったり寝転んだりせず、清潔に保ちましょう

1. 病室への入室方法

① 病室に入室したら、入口で手洗い・アルコール手指消毒をして下さい

*病棟の入り口前でも必ず手洗いはして下さい

② マスクの着用をお願いします

③ 風邪、下痢など感染症状のある方は、入室はご遠慮ください

周囲に感染症（インフルエンザ・ノロウイルス・水痘・带状疱疹など）にかかっておられる方や、接触された場合もひかえていただきます

迷ったときは、看護師に御相談ください

④ 入室時、入り口で下足はスリッパ等に履き替えて、コート等は脱いでお入り下さい

2. 付き添いについて

① 付き添いは、原則ご両親のみとさせていただきます

② 貸しベッド・布団は、病院で準備いたします

患者さんと一緒にベッドで添い寝することは、御遠慮ください

8. 移植後の一日のスケジュール

2 時	乳幼児：眠っている間に検温をします
6 時	眠っている間に採血をします
7 時	“おはようございます” 起床時間になりました 毎日起床後に尿検査があるので、尿器・ユーリパンにとっておいてください 毎日朝食前に体重測定があります 学童以降：検温をします
7 時半	朝食配膳 ※食後の歯磨きをしましょう
9 時	環境整備
10 時	たくさんの点滴を投与していきます 日勤の担当看護師とケアの時間の調整をしましょう 乳幼児：検温をします
12 時	昼食配膳 ※食後の歯磨きをしましょう
14 時	学童以降：検温をします
18 時	検温をします 夕食配膳 ※食後の歯磨きをしましょう
21 時	“おやすみなさい” 消灯時間になりました

9. 食事について

当院では、食中毒予防と治療で食事制限を行っているお子様への配慮により、原則として持ち込みの食事はお断りしています。

医師の許可があり、病棟のルールが守れる場合に限り、ご家族の管理・責任のもとで持ち込みの食事が可能です。

～持ち込み食についての基本的なルール～

- ① クリーンルーム入室中の食事パンフレットに沿って制限を守ること
- ② 病室の冷蔵庫に入るもの・飲料は500ml以下のものにする
- ③ ペットボトルなどは開封日・時間を記入し、直接口をつけずに紙コップを使用する 開封後24時間以上経過したものは破棄する
- ④ 調味料・ふりかけなどは個包装されているものにする
- ⑤ 摂取したものは、必ず看護師に報告する
- ⑥ プリン・ゼリーやストロー付きのジュースなどの残りは破棄する

10. 清潔ケアについて

移植のときは、白血球が低下し感染しやすい状態になるため
身体を清潔に保ち、感染予防することがとても重要になります。

手洗いの徹底

トイレの後、食事や内服前など口に物を含む前、新聞・雑誌・単行本などを読んだ
後は念入りに行ってください

皮膚の清潔

クリーンルーム入室の前日または当日にシャワー浴を行い、清潔な衣服に着替えて
から入室します

クリーンルーム入室後は、乳幼児はベビーバスによる沐浴や身体拭きと陰部の洗浄
を行います。学童以降は身体拭きと陰部の洗浄を毎日行い、洗髪・足浴などは一緒
に相談して曜日を決めて行います

衣服は毎日清潔なものに着替えます

爪は皮膚を傷つける原因となるため、短く切っておきましょう

皮膚の乾燥、赤みなどがみられた場合は看護師にお知らせください

排泄時のケア

排便後は強くこすらないように拭き取り、必要時にサニータやお尻拭きを使用して
ください

陰部・肛門部に異常（かゆみ、痛み、かぶれ、発赤、びらん、水疱、出血）がある
場合は看護師にお知らせください

尿器は排泄毎に水洗いし、1日1回看護師が洗浄機で洗浄します



11. 口の中のケアについて

口の中には大変多くの細菌が存在します。

普段は唾液が口の中を洗い流し、細菌に対しても抵抗力がありますが、造血幹細胞移植の主な副作用により、粘膜炎や口内炎が生じやすくなります。

口の中を正しくケアしておくと、この炎症部位から細菌が侵入し、全身に及ぶ感染症を引き起こすことを予防できます。

また、炎症は強い痛みを伴い、ごはんを食べられなくなったり、唾液を飲み込めなくなったりなどの日常生活にも影響を及ぼしますので、しっかりケアしておくことが大切です。

症状をできるだけ軽減するために、移植前から口の中をきれいにしておくことが大切です。

うがい

移植のあとは唾液の分泌が少なくなり、口の中が乾燥しやすくなります。口の中が乾燥すると細菌が繁殖しやすい状況になります。

起床時、毎食前後、寝る前に水またはぬるま湯でブクブクうがいとガラガラうがいをしましょう。

歯磨きが難しいときはうがいをするだけでも十分に効果があります。

歯磨き

毎食後と寝る前に行いましょう。歯磨き粉はメンソールの入っていない刺激の少ないものを選びましょう。

使用後の歯ブラシはヘッドを上にして十分に乾燥させてください。

歯ブラシはヘッドが小さく柔らかいものを選択してください。

タフトブラシ（一本歯用）や歯間ブラシを使用すると、丁寧にケアすることができます。

口の中の痛みが強いときは歯ブラシの使用をやめスポンジブラシを使用します。

口腔外科受診

移植前に口の中の状態を外来で専門的にチェックしてもらいます。

毎日のケアがきちんとできていても、トラブルが生じることもあります。

必要に応じて、診察してもらうことも可能なので、気になる方は看護師にご相談ください。

粘膜炎・口内炎ができてしまったときは…

スペシャル含嗽（必要時に医師が処方します）

ハチアズレ（炎症を抑える）、キシロカイン（痛み止め）、グリセリン（粘膜を守る）が含まれています。

ブクブクうがいで2分ほど口に含み、吐き出します。

ガラガラうがいはしないでください（誤って飲み込んでしまう危険があります）

食前に行うことで、口の中の痛みを和らげ食べやすくなる効果があります。

痛み止め

一般的に使用する痛み止め（アセリオ）で痛みのコントロールができないときには医療用麻薬（モルヒネ）を使用することがあります。

ごはんを食べる前や薬を飲む前などのタイミングで使用する、口の中の痛みを和らげることができます。



12. GVHD（移植片宿主病について）

ドナー細胞が正常な細胞も異物として攻撃してしまう免疫反応のひとつです

GVHD は主に以下の部位に症状が出現します

部位	症状	予防・対処方法
皮膚	湿疹、赤み、痒み、痛み 水ぶくれ、びらん	皮膚を清潔に保ち保湿する 軟膏を使用する
肝臓	黄疸	ウルソの内服
消化管	腹痛、水下痢	整腸剤や下痢止めの内服 痛み止めの使用 腹部を温める

13. 内服について

免疫抑制剤（プロGRAF）

GVHD を予防するため、移植前日より開始する薬です。

はじめは血中濃度が安定しやすい点滴で投与し、血液検査で血中濃度を定期的に測定し投与量を調整していきます。

GVHD 症状をみながら飲み薬に切り替えていきます。

セイヨウオトギリソウ含有食品（主に健康食品やサプリメントなど）、グレープフルーツ、はっさくなどの果物に含まれる成分で血中濃度が変わりやすいため避けましょう。

代表的な副作用：腎障害、肝障害、高血圧、浮腫、中枢神経障害、嘔吐、高血糖、腹痛、下痢、手足の震え、頭痛、ほてり、鼻咽頭炎など

ステロイド

自己免疫を抑制し、GVHD をコントロールします。

代表的な副作用：易感染、高血圧、浮腫、満月様顔貌、筋肉痛、関節痛、消化管潰瘍、精神症状、食欲増進、発疹、高血糖など

カンデサルタン

血圧を下げるための薬です。

（普段血圧が正常範囲内であっても、移植時に合併症予防として使われる薬剤の副作用で血圧が高くなることがあります）

代表的な副作用：低血圧、倦怠感、めまい

ウルソ

移植の合併症の一つである肝障害を予防します。

代表的な副作用：下痢、悪心、身体のかゆみ、発疹

14. おわりに

分からないことや心配なことなど・・・

どんなことでもいつでもご相談ください

